



選び、学び、羽ばたく子どもたちとともに

学校長 野村 光

2026年、新しい年を迎え、皆さまに心よりお慶び申し上げます。

年の初めの朝会では、冬の寒さの中で凛と咲く「水仙」の花の話をしました。水仙は、厳しい寒さの中でも静かに根を張り、自分のタイミングで花を開きます。華やかさを競うのではなく、環境に負けず、確かな力を内側に育てながら、やがて美しい花を咲かせる姿が印象的です。



子どもたちの成長もまた、この水仙の姿と重なります。一人一人が自分のペースで力を蓄え、周囲の温かな支えを受けながら、確かな歩みを進めています。

昨年は、学校として「リーディングDX事業」と「交通安全推進校」の二つの事業に参画いたしました。いずれも地域や保護者の皆さまのお力添えをいただきながら、着実に歩みを進めているところです。子どもたちの学びの質を高める取り組みと、安心・安全な学校生活を守る取り組みが少しずつ形になりつつありますが、まだ道半ばであり、今後も職員一同で力を合わせて取り組んでまいります。

特にリーディングDX事業では、子どもたちの主体性を育てることを大切にしています。自ら課題を見つけ、自分に合った学び方を選び取る力は、これからの社会を生き抜くために欠かせません。横浜市の6万人の子どもたちへのアンケートでは、92%が「今よりも自分で学び方を選びたい」と答えています。この声は、子どもたちが自らの学びを主体的に築いていきたいという強い願いの表れであり、私たちの学校にとっても大きな指針となっています。水仙が自らの力で花を開くように、子どもたちが自分で選び、考え、行動する力を育むことを、今年度も大切にしていまいります。

こうした取り組みの一端を、12月19日の成果発表では全国各地からお越しいただいた120名余の皆さまにご覧いただくことができました。子どもたちが主体的に学ぶ姿を直接見ていただけたことは、私たちにとっても大きな励みとなりました。準備や運営にご尽力くださったPTAの保護者の皆さま、そして日頃から温かく見守ってくださる地域の皆さまのお力添えに、改めて深く感謝申し上げます。学校だけでは成し得ない活動が、地域と保護者の力によって支えられていることを改めて実感いたしました。今年は午年です。力強く駆ける午の姿は「前進」「飛躍」を象徴すると言われております。子どもたちも午のように一步一步力強く歩を進め、仲間とともに未来へ駆けていくことでしょう。私たち教職員も地域とともに歩む学校として、保護者の皆さまと寄り添いながら、子どもたちの可能性を丁寧に育ててまいります。そして目指す学校の姿である「誰もが笑顔で明日も通いたくなる温もりのある洋二小」を実現するために、日々の教育活動を積み重ねてまいります。



日々の取り組みの様子につきましては、学校ホームページ「校長室の窓」や学校だより等を通じて随時お伝えしてまいります。保護者の皆さまだけでなく地域の皆さまにも学校の歩みを身近に感じていただき、共に子どもたちの成長を喜び合えるよう努めてまいります。

新しい年が、皆さまにとって健康と幸せに満ちた一年となりますよう祈念いたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。